

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和6年7月10日(2024.7.10)

【公開番号】特開2024-52895(P2024-52895A)

【公開日】令和6年4月12日(2024.4.12)

【年通号数】公開公報(特許)2024-068

【出願番号】特願2024-29769(P2024-29769)

【国際特許分類】

A 63 F 5/04 (2006.01)

10

【F I】

A 63 F 5/04 611B

A 63 F 5/04 602A

A 63 F 5/04 605B

A 63 F 5/04 691A

【手続補正書】

【提出日】令和6年7月2日(2024.7.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

20

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1制御手段を有し、

第2制御手段を有し、

計数スイッチを有し、

第2制御手段は、第1の期間毎に計数通知を外部ユニットに向けて送信可能であり、

計数通知には計数値が含まれており、

計数値は0から所定値までの値がとりえるように構成されており、

30

計数スイッチが操作されていないときに計数通知タイミングとなった場合は、計数値が

0である計数通知を外部ユニットに向けて送信可能であり、

計数スイッチが操作されてから所定期間が経過するよりも前に計数スイッチが操作されなくなった後で計数通知タイミングとなった場合は、計数値が1である計数通知を外部ユニットに向けて送信可能であり、

計数スイッチが操作されてから所定期間以上に亘って計数スイッチの操作が継続されているときに計数通知タイミングAとなった場合は、計数値が所定値である計数通知を外部ユニットに向けて送信可能であり、

計数スイッチが操作されてから所定期間以上に亘って計数スイッチの操作が継続されているときに計数通知タイミングAとなり、計数スイッチの操作が当該計数通知タイミングA以降も継続しており、かつ当該計数通知タイミングAの後の計数通知タイミングBとなるまでに計数スイッチが操作されなくなった場合は、当該計数通知タイミングBにおいて、計数値が0である計数通知を外部ユニットに向けて送信可能であり、

40

第1制御手段は、第1遊技状態から第2遊技状態へ移行させることが可能であり、

第2制御手段は、ホールコン・不正監視情報を第1の期間ごとに外部ユニットに向けて送信可能であり、

第2制御手段は、遊技機設置情報を第2の期間ごとに外部ユニットに向けて送信可能であり、

第1の期間は第2の期間よりも短い期間であるよう構成されており、

50

第2の期間は第1の期間の倍数であるよう構成されており、

ホールコン・不正監視情報を外部ユニットに向けて送信可能な第1タイミングにて第1遊技状態であり、ベット数が0であり、付与数が0であり、当該第1タイミングから第1の期間が経過したタイミングであって遊技機の起動が完了してから第2の期間が経過した第2タイミングにて第1遊技状態であり、ベット数が0であり、付与数が0であった場合は、当該第2タイミングにおいて遊技機設置情報を外部ユニットに向けて送信可能であり

ホールコン・不正監視情報を外部ユニットに向けて送信可能な第1タイミングにて第1遊技状態であり、ベット数が0であり、付与数が0であり、当該第1タイミングから第1の期間が経過したタイミングであって遊技機の起動が完了してから第2の期間が経過した第2タイミングにて第2遊技状態であり、ベット数が0であり、付与数が0であった場合は、当該第2タイミングにおいてホールコン・不正監視情報を外部ユニットに向けて送信可能である

遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本態様に係る遊技機は、

第1制御手段を有し、

第2制御手段を有し、

計数スイッチを有し、

第2制御手段は、第1の期間毎に計数通知を外部ユニットに向けて送信可能であり、

計数通知には計数値が含まれてあり、

計数値は0から所定値までの値がとりえるように構成されており、

計数スイッチが操作されていないときに計数通知タイミングとなった場合は、計数値が0である計数通知を外部ユニットに向けて送信可能であり、

計数スイッチが操作されてから所定期間が経過するよりも前に計数スイッチが操作されなくなった後で計数通知タイミングとなった場合は、計数値が1である計数通知を外部ユニットに向けて送信可能であり、

計数スイッチが操作されてから所定期間以上に亘って計数スイッチの操作が継続されているときに計数通知タイミングAとなった場合は、計数値が所定値である計数通知を外部ユニットに向けて送信可能であり、

計数スイッチが操作されてから所定期間以上に亘って計数スイッチの操作が継続されているときに計数通知タイミングAとなり、計数スイッチの操作が当該計数通知タイミングA以降も継続しており、かつ当該計数通知タイミングAの後の計数通知タイミングBとなるまでに計数スイッチが操作されなくなった場合は、当該計数通知タイミングBにおいて、計数値が0である計数通知を外部ユニットに向けて送信可能であり、

第1制御手段は、第1遊技状態から第2遊技状態へ移行させることが可能であり、

第2制御手段は、ホールコン・不正監視情報を第1の期間ごとに外部ユニットに向けて送信可能であり、

第2制御手段は、遊技機設置情報を第2の期間ごとに外部ユニットに向けて送信可能であり、

第1の期間は第2の期間よりも短い期間であるよう構成されており、

第2の期間は第1の期間の倍数であるよう構成されており、

ホールコン・不正監視情報を外部ユニットに向けて送信可能な第1タイミングにて第1遊技状態であり、ベット数が0であり、付与数が0であり、当該第1タイミングから第1の期間が経過したタイミングであって遊技機の起動が完了してから第2の期間が経過した

10

20

30

40

50

第2タイミングにて第1遊技状態であり、ベット数が0であり、付与数が0であった場合は、当該第2タイミングにおいて遊技機設置情報を外部ユニットに向けて送信可能である。

ホールコン・不正監視情報を外部ユニットに向けて送信可能な第1タイミングにて第1遊技状態であり、ベット数が0であり、付与数が0であり、当該第1タイミングから第1の期間が経過したタイミングであって遊技機の起動が完了してから第2の期間が経過した第2タイミングにて第2遊技状態であり、ベット数が0であり、付与数が0であった場合は、当該第2タイミングにおいてホールコン・不正監視情報を外部ユニットに向けて送信可能である様である。

また、本様に係る遊技機は、

計数スイッチと、
内部抽せん手段と
を備え、

総遊技価値数を記憶可能であり、

遊技機の外部に対して総遊技価値数の一部または全部の遊技価値数を出力可能に構成されており、

所定時間ごとに繰り返し実行される計数処理を実行可能であり、

計数スイッチの操作状況に関する状態である計数スイッチ状態を記憶可能に構成されており、

計数処理においては、記憶されている計数スイッチ状態に基づいて遊技機の外部に対して出力する遊技価値数を決定するよう構成されており、

計数スイッチが新たにオンとなってから計数スイッチのオンが所定時間以上継続すると、計数スイッチ状態として第2状態が記憶されるよう構成されており、

計数スイッチ状態として前記第2状態が記憶されている状況で計数スイッチが新たにオフとなつても、次回の計数処理を実行するまでは計数スイッチ状態として前記第2状態が記憶されたままとなるよう構成されており、

計数スイッチ状態として前記第2状態が記憶されている状況で計数処理が実行された場合、計数スイッチ状態として第3状態が記憶されるよう構成されており、

計数スイッチ状態として前記第3状態が記憶されている状況で計数スイッチが新たにオフとなると、計数スイッチ状態として第1状態が記憶されるよう構成されており、

計数スイッチ状態として前記第2状態が記憶されている状況で計数処理が実行される場合、遊技機の外部に対して出力する遊技価値数を所定値に決定し得るよう構成されており、

計数スイッチ状態として前記第3状態が記憶されている状況で計数処理が実行される場合、遊技機の外部に対して出力する遊技価値数を前記所定値に決定し得るよう構成されており、

計数スイッチ状態として前記第1状態が記憶されている状況で計数処理が実行される場合、遊技機の外部に対して出力する遊技価値数を「0」に決定するよう構成されていることを特徴とする様であつてもよい。

10

20

30

40

50